

956-18

昭和47年度 自昭和47年4月 1日
至昭和48年3月31日

事 業 報 告
決 算 報 告 書

財団法人 日本常民文化研究所

昭和47年度事業報告・財産目録・貸借対照表・損益計算書並に損益処分案
は次の通りであります。

昭和48年5月28日

財団法人

理事長	有賀喜左衛門
理事	河岡武春
"	桜田勝徳
"	渋沢雅英
"	杉本行雄
"	三野和夫
"	宮本馨太郎
"	宮本常一
"	山口和雄
監事	高木一夫
"	小宮山若木

目次

- (一) 事業報告
- (二) 貸借対照表
- (三) 損益計算書
- (四) 財産目録
- (五) 損益金処分案

(一) 事業報告

昭和47年度は、念願の三田復帰がかない、研究所の運営も軌道にのりはじめたといえる。この復帰記念として、9月より戦前刊行のアチックミュージアム彙報ノートが「日本常民生活資料叢書」(全24巻)と装いをかえ、複製刊行が始められた。

事業としては、やはり昭和13年頃をピークとして行われていた、筈調査研究を継続するために、12月より研究会形式で検討を開始した。一方、実地調査と周辺民族をふくめた文献研究による報告とあわせて月1回を継続している。

地方郷土博物館所蔵民具の「資料化」は、青森県下北郡川内町、および長野県木曾福島郷土館について、撮影、計測、聞とりをおこない、カード化した。

常民文化叢書は、「民具論集4」および小野重朗著「十五夜綱引の研究」を刊行。「民具論集5」は編集中。

「民具マンスリー」は5巻が終了し、いわば第二期ともいうべき、第6巻目に入り、16ページ建てとなり、会員も356人(年度末)に増加した。

「民具辞典」については、原稿作感は遅れており、まだ307項目にとどまっているので、早急の対策が望まれる。

なお、「全国漁業制度資料筆写本」の整理を始めているが、何ほども進んでいない。これらの資料をもとに「全国漁業制度資料の総合的研究」なるテーマ(代表者山口和雄)にて、科学研究費の申請をした。昭和48年度より3ヶ年計画(年間200万円)

昭和47年度

貸借対照表

昭和48年3月31日現在

勘定科目	公益部		収益部		合計	
	借方(資産)	貸方(負債)	借方(資産)	貸方(負債)	借方(資産)	貸方(負債)
什器備品	284,995				284,995	
建物	6,427,622				6,427,622	
有価証券	3,656,219				3,656,219	
預金	3,016,562		37,132		3,053,694	
現金	269		7,721		7,990	
入金	11,673,718				11,673,718	
基金		800,000				800,000
通財		4,176,100				4,176,100
積立		10,155,685				10,155,685
出版準備積立金		1,200,000				1,200,000
繰入金			7,397,261		7,397,261	
受取金				11,704,637		11,704,637
仮払金			228,375	125,841	228,375	125,841
高庫在			663,900		663,900	

57,965,361	53,916,785	8,334,389	11,830,478	66,299,750	65,747,263
	4,048,576				4,048,576
		3,496,089		3,496,089	
57,965,361	57,965,361	11,830,478	11,830,478	69,795,839	69,795,839

備考	備品	減価償却費
	325,865円	40,870円
	建物	253,897円
	6,681,519円	

956-18



昭和47年度

損益計算書

昭和48年3月31日現在

勘定科目	公 益 部		損失の部	損 益 部		損失の部	合 計	
	損失の部	利益の部		損失の部	利益の部		損失の部	利益の部
職員給与	810,812円		2,432,438円		3,243,250円			
旅費	4,815		27,292		32,107			
消耗品	30,450		172,555		203,005			
印刷	16,739		94,858		111,597			
通信	6,114		34,651		40,765			
水道・光熱費	18,557		105,162		123,719			
資料	3,412		19,338		22,750			
調査	4,499		25,498		29,997			
民具マンスリー	54,855		219,427		274,282			
常書	72,145		408,825		480,970			
文書	672,685		-		672,685			
買上	108,780		435,120		543,900			
賃	9,400		37,600		47,000			
租	4,959		3,500		8,459			
公	1,950		11,050		13,000			
備								

雑支	125,224		95,910		221,134			
減価償却	625		-		625			
繰越	294,767		-		294,767			
棚卸			528,000		528,000			
株式		327,1390		663,900		663,900		
預売		138,788				327,1390		
印		257,100		491,235		138,788		
雑		2,562,086				748,335		
小		60,000				256,2086		
当期利益金	2,240,788		4,651,224		6,892,012		60,000	
当期損失金	4,048,576				4,048,576			
計	6,289,364		4,651,224		10,940,588		7,444,499	
		6,289,364		3,496,089		3,496,089		
				4,651,224		10,940,588		

昭和47年度

財 産 目 録

昭和48年3月31日現在

公 益 部

資産の部

什 器 70,000円
備 品 214,995
建 物 6,427,622
有 価 証 券 3,656,219.5

書棚, 事務机, 椅子
会議用机, 椅子, 書架, キャンベネット他
第二綱町レヂデンス813号室購入
清水建設 7,905株 550,400円
東京電力 3,600株 2,133,000
山一ファミリー 370口 3,885,000
山一公社債 2,730口 2,737,500
協同国際投資信託 100口 1,050,000
銀行保険ファンド 100口 1,068,795
京浜急行転換社債 50口 500,000
第一勸業銀行銀座支店 定期預金 500,000
協和銀行麻布支店 " 2,100,000
" 普通預金 363,462
郵便振替 53,100
収益部運営資金として元入

元 入 金 1,673,718

+

負債の部

基 本 金

800,000
通 常 財 産 4,176,110
積 立 金 10,155,685
出版準備積立金 1,200,000

第一勸業銀行銀座支店 定期預金 500,000
清水建設 2000株 (評価) 300,000
前期より繰越分
既往年度益金繰入れ
益金中より創設

収 益 部

資産の部

預 金 3,7132
繰 越 損 金 7,397,261
棚 卸 在 庫 663,900
仮 払 金 228,375

協和銀行麻布支店 普通預金 8,879
港区三田台郵便局 振替貯金 28,253
既往年度に於ける損失繰入額
既往刊行図書残部時国家文書他22種
民具辞典原稿料

負債の部

元 受 金 1,170,4637
預 り 金 125,841

運営資金として公益部より元受
47.12~48.3月源泉所得税

+

昭和47年度

損益金処分

昭和48年3月31日現在

公 益 部	当 期 益 金	4,048,576円	
	処 分		
	出版準備積立金へ繰入		300,000円
	種立金へ繰入		3,748,576円
	計		4,048,576円
	差引残額なし		

収 益 部
当 期 損 失 金

3,496,089円	
繰越損金に繰入	3,496,089円
差引残額なし	

決算報告書と出納諸帳簿を照合いたし相違ないことを証明します。

昭和48年5月28日

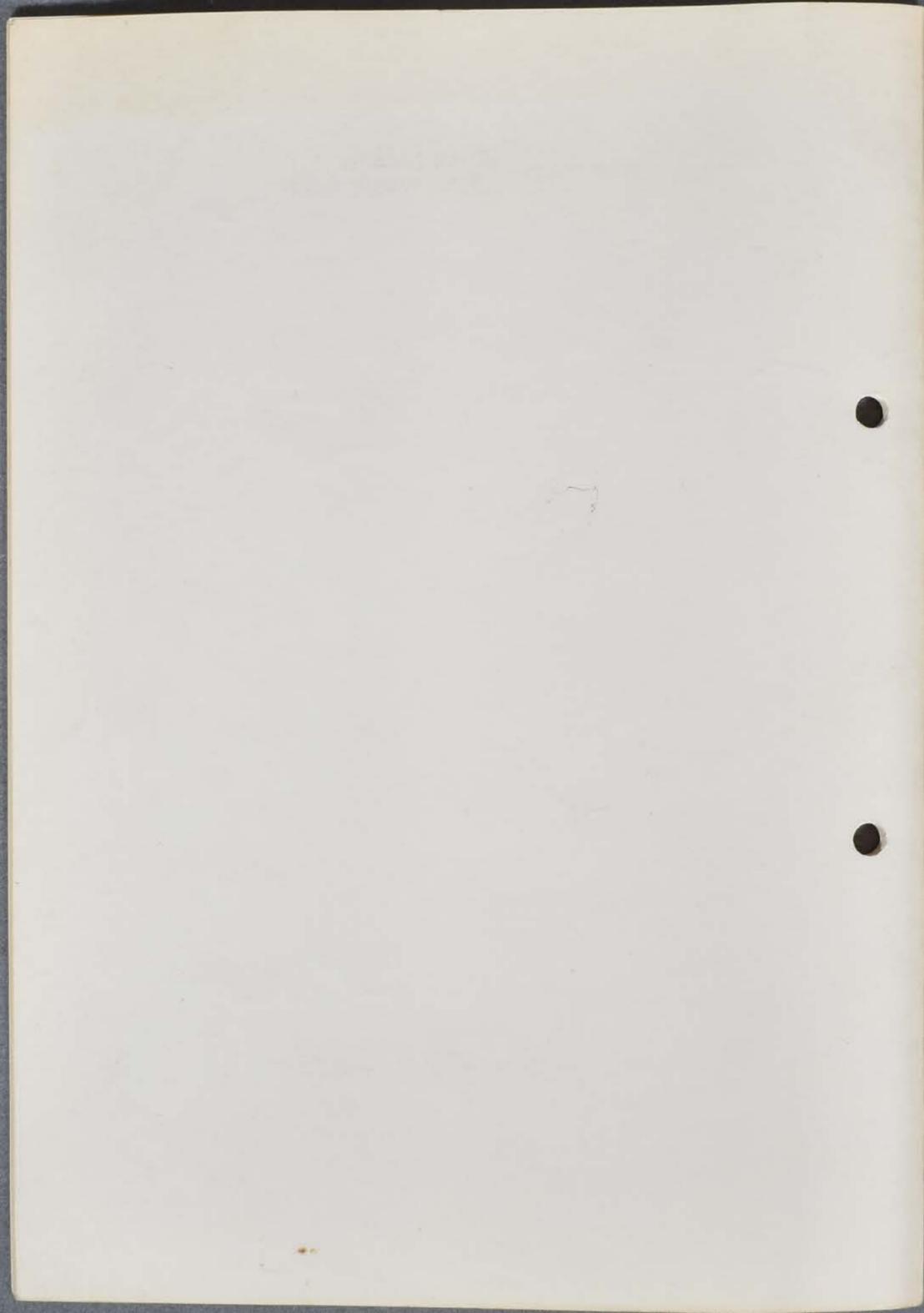
高 木 一 夫 印
 小 宮 山 若 木 印

956-18

956-18



956-18



718

昭和48年度

事業計画
収支予算書

財団法人 日本常民文化研究所

(一) 事業計画

これからの研究所のあり方を考えていくばあい、昭和50年が、アチックミュージアム開設いらい、50周年を迎えるので、これを目標に、運営を本格的な軌道にのせるよう、計画もたて、一そこの努力をしていきたい。

まず昭和48年度は「日本常民生活資料叢書」(全24巻・三一書房刊)が完結する。現在ほぼ順調に進行中である。定期の編纂刊行としては、民具マンスリー、民具論集など常民文化叢書の編纂刊行をひきつづきおこなう。なお「民具辞典」については要望も高いので、早急に遅れをとりもどしまとめあげる。

なお、昨年12月から釜研究会、さらに4月から民具研究会を月1回づつ行っているが、開設早々にもかかわらず、本格的な民具調査、研究の検討の場となっている。

I 「民具」「釜」研究会の開催

「釜研究会」はレギュラー8人を決め、これを中心とし、アンケート資料の検討から入り、史料館(旧アチック所蔵)の釜関係資料もさらに整理をはじめた。ただこれらの資料を最大限に活用するためには、改めて実地調査を必要とし、標本による形態機能の研究、さらに内外の文献研究を加えて、さらに発展させていきたい。

「民具研究会」は参加者は15名内外で、若い人たちが多く、本格的な報告がなされ今後がひじょうに期待されるので、積極的にその場をつくっていく。

II 「民具マンスリー」「民具論集」など常民生活叢書の編纂刊行。

「民具マンスリー」は発刊いらい6年目を迎え、新年度より16ページ建

てとなり、編集についても面目を改めるべく、いくつかの試みを始めている。ここ1年前くらいから、従前にまして会員の増加がみられ、変化が感じられる。こうした機運にたいして地方における調査研究を一そう促進させるための指導的役割が一そう重要となった。

「民具論集」の役割もれと呼応しておるが、今後は、特集的な編集の必要性が感じられる。

Ⅲ 「民具辞典」の編纂

「民具辞典」はアンケートによるとその要望の高いことが知られ、やはり50年の目標をまえに早急にとりまとめる必要がある。

Ⅳ 地方郷土博物館所蔵民具の「資料化」

この資料化の事業は4年目を迎え、予定としては、越中五箇山、国東半島、信州下伊那山村などを予定。民具資料の量的な確保がいそがれる。

Ⅴ 「全国漁業制度資料」の整備

「全国漁業制度資料筆写本」1220冊の整理をわずかながら進めていきたい。科学研究費交付による「全国漁業制度資料の総合的研究」の見通しは必ずしもよくないが、この方向での事業は1つの柱として重要性をもっている。

昭和48年度収支予算

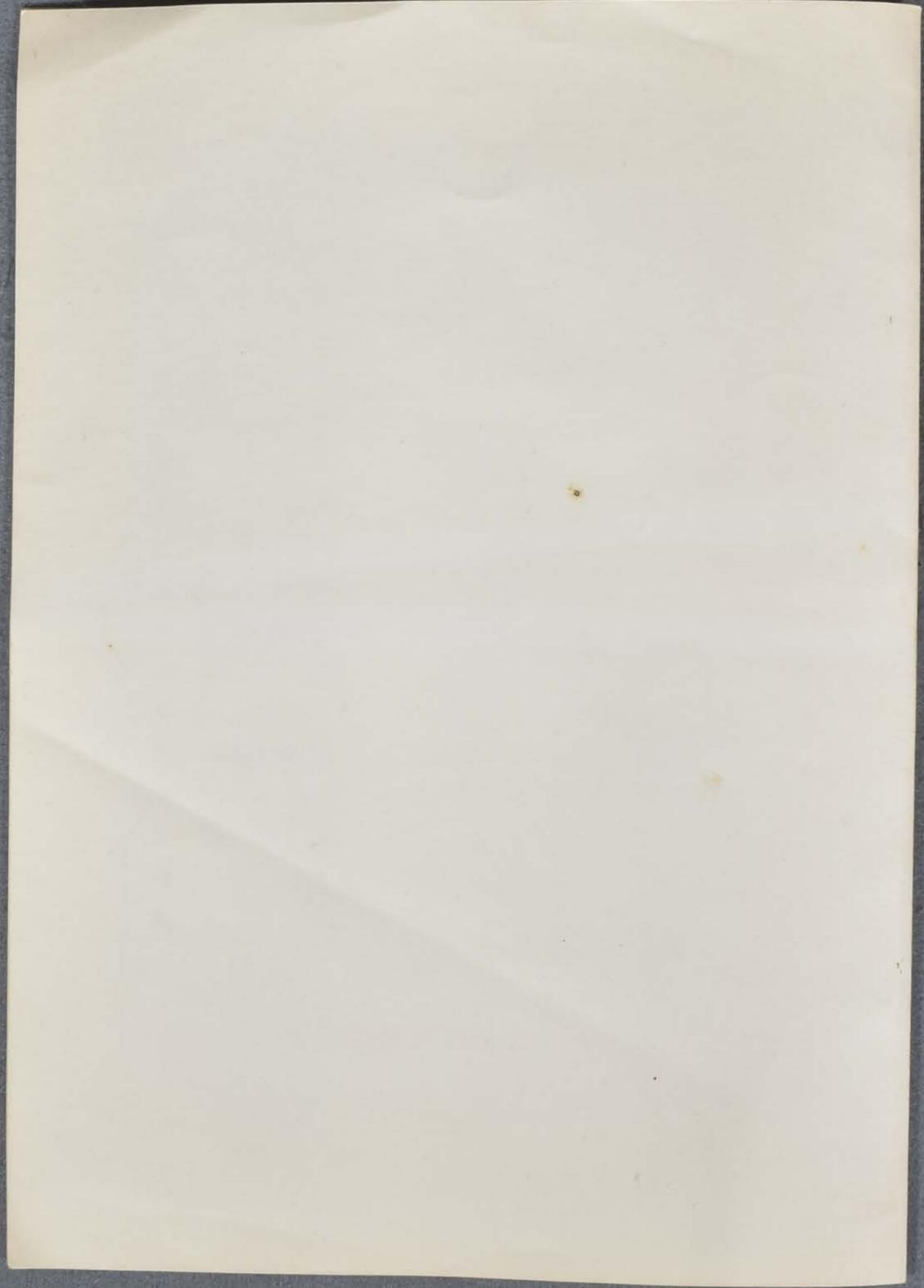
収入の部

項目	区分	予算額	備考
定期預金利息		200,000円	第一勧銀銀座支店 50万円 協和銀行麻布支店 260万円
株式配当		2,380,000	清水建設株式7,905株ほか注
出版物売上金		300,000	
委託費		0	
民具マンスリー		570,000	
印税		4,000,000	
前年度繰越金		0	
計		7,450,000	

支出の部

項目	区分	予算額	備考
役員給		1,280,000円	8万円×16
職員給		2,240,000	7万円×16×2
会合費		30,000	
旅費交通費		250,000	
消耗品費		50,000	
印刷費		30,000	
通信費		170,000	マンスリー発送費とも
共益費		60,000	
光熱水道費		50,000	
資料蒐集費		300,000	
調査旅費		1,200,000	
民具マンスリー		700,000	直接負担20万をふくむ
常民文化叢書買上費		400,000	民具論集 5輯
労賃		200,000	
公租公課		20,000	
備品費		400,000	
雑費		70,000	
計		7,450,000	

718



956-19

昭和48年度 自昭和48年4月1日
至昭和49年3月31日

事 業 報 告
決 算 報 告 書

財団法人 日本常民文化研究所

956-19

昭和48年度事業報告・財産目録・貸借対照表・損益計算書並に損益処分案
は次の通りであります。

昭和48年6月1日

財団法人 日本常民文化研究所

理事長	有賀 喜左衛門
理事	河 岡 武 春
"	桜 田 勝 徳
"	渋 沢 雅 英
"	杉 本 行 雄
"	二野瓶 徳 夫
"	宮 本 馨 太 郎
"	宮 本 常 一
"	山 口 和 雄
監 事	高 木 一 夫
"	小宮山 若 木

目 次

- (一) 事 業 報 告
- (二) 貸 借 対 照 表
- (三) 損 益 計 算 書
- (四) 財 産 目 録
- (五) 損 益 金 処 分 案

(一) 事 業 報 告

昭和48年度は、戦前のアチックミュージアム彙報・ノートを編集した『日本常民生活資料叢書』（全24巻・三一書房刊）が完結した。

事業としては、筌研究会を昭和47年12月より始め、研究会形式にて検討している。旧アチック筌調査カードの整理、実地調査と周田民族をふくめた文献研究による報告とあわせて、月1回を継続している。

民具研究会は昭和48年4月にスタートし、大体15人前後の参加であるが、活発である。

地方郷土博物館所蔵民具の「資料化」は、青森県下北郡川内町、長野県下伊那郡清内路村、石川県羽咋郡志賀町について、撮影、計測、聞とりをおこない、カード化866枚をなした。

常民文化叢書は、本年度中は刊行にいたらず、「民具マンスリー」は第6巻が終了し、会員も398人（年度末）に増加した。

『民具辞典』については、原稿作成が遅れており、まだ307項目にとどまっている。

なお河岡理事が、北欧を中心としたヨーロッパの民俗・民族博物館調査のため、9月9日より1カ月半出張した。

昭和48年度

貸借対照表

昭和49年3月31日現在

勘定科目	公 益 部		收 益 部		合 計	
	借方 (資産)	貸方 (負債)	借方 (資産)	貸方 (負債)	借方 (資産)	貸方 (負債)
什器備品	493,368			493,368	493,368	
建物	6,183,373			6,183,373	6,183,373	
有価証券	3,756,219			3,756,219	3,756,219	
預金	4,326,626			5,634,091	5,634,091	
現金	431			8,010	8,010	
入金	17,673,718			17,673,718	17,673,718	
基金		800,000				800,000
通産		41,761,100				41,761,100
積立		13,904,261				13,904,261
出版準備積立		1,500,000				1,500,000
繰入金			10,893,350		10,893,350	
元預り				17,704,637		17,704,637
仮払		28,462		50,850		79,312
貸付					228,375	
在庫					100,000	
高棚					675,000	

小計	66,239,711	57,993,823	13,211,769	17,755,487	79,451,480	75,749,310
当期利益金		8,245,888				8,245,888
当期損失金			4,543,718		45,43,718	
合計	66,239,711	66,239,711	17,755,487	17,755,487	83,995,198	83,995,198

956-19

昭和48年度

損益計算書

昭和49年3月31日現在

勘定科目	公益部		収益部		合計	
	損失の部	利益の部	損失の部	利益の部	損失の部	利益の部
職員給与	880,000円		2,640,000円		3,520,000円	
会費	2,503		1,9890		22,393	
旅費	3,9546		224,099		263,645	
消耗品費	14,554		82,476		97,030	
印刷費	6,866		39,309		46,175	
通信費	18,958		107,037		125,995	
共益費	12,427		70,423		82,850	
水道・光熱費	5,181		29,365		34,546	
資料蒐集費	111,603		446,417		558,020	
調査費	179,046		1,014,594		1,193,640	
民具マンスリー	959,930				959,930	
賃借料	30,360		121,440		151,800	
公租	19,260		16,954		36,214	
備品費	3,345		18,955		22,300	
雑費	51,003		90,487		141,490	

-6-

590				590	
376,996				376,996	
		663,900		663,900	
	2,605,928				2,605,928
	135,041				135,041
	360,690		366,628		727,318
	7,855,614				7,855,614
	783				783
			675,000		675,000
2,712,168	10,958,056		1,041,628	8,297,514	11,999,684
8,245,888				8,245,888	
10,958,056	10,958,056		4,543,718	1,654,3402	4,543,718
			5,585,346	1,654,3402	1,654,3402

-7-

昭和48年度

損益金処分

昭和49年3月31日現在

公益部
当期益金処分

8,245,888円

出版準備積立金へ繰入
積立金へ繰入

300,000円
7,945,888円
8,245,888円

計

収益部
当期損失金

4,543,718円

繰越損金へ繰入

4,543,718円

決算報告書と出納諸帳簿を照合いたし相違ないことを証明します。

昭和49年6月1日

高木 一夫 印
小宮山 若木 印

956-19

